



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月26日

上場会社名 太平洋工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7250 URL <https://www.pacific-ind.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川信也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺智 (TEL) 0584-93-0117
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	90,911	15.9	2,601	△48.2	5,542	△4.4	4,131	△5.7
2022年3月期第2四半期	78,422	21.0	5,024	482.6	5,797	341.4	4,381	364.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 12,116百万円(48.0%) 2022年3月期第2四半期 8,189百万円(953.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	68.75	68.62
2022年3月期第2四半期	72.37	72.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	251,803	139,985	55.2
2022年3月期	245,439	130,382	52.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 139,066百万円 2022年3月期 129,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	25.00	41.00
2023年3月期	—	20.00			
2023年3月期(予想)			—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	12.5	8,500	△21.0	11,500	△21.3	8,300	△15.3	138.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	61,312,896株	2022年3月期	61,312,896株
2023年3月期2Q	1,670,855株	2022年3月期	732,655株
2023年3月期2Q	60,096,170株	2022年3月期2Q	60,550,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	3
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	4
(1) 【四半期連結貸借対照表】	4
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	6
【四半期連結損益計算書】	6
【四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】	8
(4) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日、12月決算である中国とフランスの子会社は2022年1月1日～2022年6月30日)の世界経済は、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、経済活動を再開する動きが見られるものの、中国におけるロックダウンによりサプライチェーンが混乱し、ウクライナ情勢の長期化が資源価格の高騰に拍車を掛けました。供給面の制約、物価の高騰、日米間の金利差拡大と為替の大幅な円安等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界において、主要顧客の自動車生産は、コロナ感染対策や部材不足等により、生産台数が低迷しており、本格的な回復には至っておりません。

このような中、当社グループでは、社員の感染防止に努め、人員・部材の確保等を行い、生産量変動に合わせた生産活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、円安による為替換算の影響や、原材料価格の変動等により、909億11百万円(前年同期比15.9%増)と同期比で過去最高となりました。利益面では、原価改善活動を継続的に推進しましたが、生産量の変動のため原価改善の効果が出づらいたともあり、販売価格の低下や原材料等の高騰をカバーするまでには至らず、営業利益は26億1百万円(前年同期比48.2%減)となりました。経常利益は、円安による為替差益の計上により、55億42百万円(前年同期比4.4%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、41億31百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

【セグメント別の状況】

(プレス・樹脂製品事業)

円安による為替換算の影響や、原材料価格の変動等により、当事業全体の売上高は638億23百万円(前年同期比19.9%増)となりました。利益面では、生産量の変動に伴う原価増やエネルギー価格の高騰等により、営業利益は1億91百万円(前年同期比88.5%減)となりました。

(バルブ製品事業)

円安による為替換算の影響等により、当事業全体の売上高は269億85百万円(前年同期比7.7%増)となりました。利益面では、原材料価格の高騰等により、営業利益は23億82百万円(前年同期比29.3%減)となりました。

(その他)

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は1億2百万円(前年同期比17.4%減)、営業利益は5百万円(前年同期は営業損失44百万円)となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は2,518億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して63億63百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は811億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億1百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が19億70百万円、棚卸資産が30億82百万円増加しましたが、現金及び預金は62億59百万円減少したことによるものであります。

固定資産は1,706億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して75億65百万円の増加となりました。これは主に、時価評価等に伴い投資有価証券は23億6百万円減少しましたが、有形固定資産が85億28百万円、無形固定資産が8億22百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は441億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億93百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が10億92百万円、未払金が12億75百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金金が24億59百万円、電子記録債務が6億58百万円減少したことによるものであります。

固定負債は677億1百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億45百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金金が17億95百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金は23億82百万円減少しましたが、利益剰余金が26億5百万円、為替換算調整勘定が103億14百万円増加したことにより、前連結会計年度末から96億2百万円増加し、1,399億85百万円となりました。

有利子負債は、前連結会計年度末から42億54百万円減少し、578億46百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は55.2%となり、前連結会計年度末と比較して、2.4ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、エネルギー・原材料価格の高騰、供給面の制約、金融資本市場の変動等により厳しい状況が続くものと想定されます。

当社グループの第2四半期累計の連結業績実績は、売上高は予想を上回った一方、生産量の変動に伴う費用が発生し、営業利益は予想を下回りました。これを受け、通期の連結業績予想を修正いたしました。当該予想には、顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づいております。また、為替レート的前提は、第3四半期連結会計期間以降は1US\$=140円と置いております。引き続き、コロナ感染防止に努め、顧客の生産情報に応じた人員・部材を確保しつつ、量変動に伴う費用の削減に努めてまいります。

これらの仮定には不確実性が含まれているため、今後の状況等によっては、実際の業績が予想から大きく乖離する可能性があります。

2023年3月期 通期の連結業績予想値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	178,000	10,500	13,500	9,500	158.68
今回修正予想(B)	185,000	8,500	11,500	8,300	138.60
増減額(B-A)	7,000	△2,000	△2,000	△1,200	—
増減率(%)	3.9%	△19.0%	△14.8%	△12.6%	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	164,472	10,756	14,615	9,803	161.86

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,014	20,755
受取手形及び売掛金	29,999	31,969
商品及び製品	7,834	9,545
仕掛品	6,209	7,118
原材料及び貯蔵品	6,429	6,892
その他	5,023	5,027
貸倒引当金	△159	△158
流動資産合計	82,351	81,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,218	32,837
機械装置及び運搬具（純額）	47,797	48,529
工具、器具及び備品（純額）	2,140	2,269
土地	10,456	10,597
リース資産（純額）	1,036	1,044
建設仮勘定	12,699	17,599
有形固定資産合計	104,348	112,877
無形固定資産		
のれん	6,751	7,096
その他	5,312	5,788
無形固定資産合計	12,063	12,885
投資その他の資産		
投資有価証券	38,473	36,167
その他	8,209	8,726
貸倒引当金	△8	△3
投資その他の資産合計	46,675	44,890
固定資産合計	163,087	170,653
資産合計	245,439	251,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,189	14,281
電子記録債務	8,095	7,437
短期借入金	1,015	1,015
1年内返済予定の長期借入金	5,986	3,527
未払金	4,387	5,663
未払法人税等	3,234	1,176
賞与引当金	1,671	1,738
その他	7,329	9,277
流動負債合計	44,910	44,116
固定負債		
長期借入金	55,099	53,303
役員退職慰労引当金	160	158
退職給付に係る負債	610	662
その他	14,276	13,577
固定負債合計	70,146	67,701
負債合計	115,056	111,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,316	7,316
資本剰余金	7,683	7,686
利益剰余金	87,470	90,076
自己株式	△205	△1,193
株主資本合計	102,265	103,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,284	15,902
為替換算調整勘定	7,602	17,916
退職給付に係る調整累計額	1,381	1,361
その他の包括利益累計額合計	27,268	35,180
新株予約権	97	97
非支配株主持分	751	821
純資産合計	130,382	139,985
負債純資産合計	245,439	251,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	78,422	90,911
売上原価	67,166	81,503
売上総利益	11,255	9,408
販売費及び一般管理費	6,230	6,806
営業利益	5,024	2,601
営業外収益		
受取利息	72	30
受取配当金	374	392
持分法による投資利益	588	471
為替差益	-	1,743
その他	207	479
営業外収益合計	1,243	3,117
営業外費用		
支払利息	232	144
為替差損	226	-
その他	10	31
営業外費用合計	469	176
経常利益	5,797	5,542
特別損失		
固定資産除売却損	103	104
特別損失合計	103	104
税金等調整前四半期純利益	5,694	5,437
法人税等	1,295	1,264
四半期純利益	4,399	4,173
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,381	4,131

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	4,399	4,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,184	△2,387
為替換算調整勘定	1,634	10,091
退職給付に係る調整額	△91	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	62	260
その他の包括利益合計	3,790	7,943
四半期包括利益	8,189	12,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,208	12,042
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	73

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,694	5,437
減価償却費	8,472	8,626
のれん償却額	489	553
株式報酬費用	8	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34	35
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31	62
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	23	23
受取利息及び受取配当金	△447	△423
支払利息	232	144
為替差損益 (△は益)	280	△901
持分法による投資損益 (△は益)	△588	△471
有形固定資産除売却損益 (△は益)	52	65
売上債権の増減額 (△は増加)	5,135	△101
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,665	△1,092
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	346	383
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△166	△250
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,801	△1,210
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2,070	607
その他	-	△124
小計	9,059	11,344
利息及び配当金の受取額	587	383
利息の支払額	△215	△151
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,585	△3,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,845	8,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△318	-
定期預金の払戻による収入	270	-
有形固定資産の取得による支出	△8,284	△8,339
有形固定資産の売却による収入	38	2
無形固定資産の取得による支出	△44	△45
投資有価証券の取得による支出	-	△399
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
長期貸付けによる支出	△6	△6
長期貸付金の回収による収入	6	13
その他	10	△106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,329	△8,882

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△499	-
長期借入れによる収入	3,550	-
長期借入金の返済による支出	△3,880	△5,186
リース債務の返済による支出	△102	△1,402
セール・アンド・リースバックによる収入	-	1,742
自己株式の取得による支出	-	△999
配当金の支払額	△1,400	△1,525
非支配株主への配当金の支払額	△2	△3
その他	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,335	△7,375
現金及び現金同等物に係る換算差額	427	1,716
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,392	△6,258
現金及び現金同等物の期首残高	28,058	26,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,665	20,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,233	25,064	78,297	124	78,422	—	78,422
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	176	176	△176	—
計	53,233	25,064	78,297	300	78,598	△176	78,422
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,673	3,371	5,044	△44	5,000	23	5,024

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額23百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	63,823	26,985	90,809	102	90,911	—	90,911
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	13	13	△13	—
計	63,823	26,985	90,809	116	90,925	△13	90,911
セグメント利益	191	2,382	2,574	5	2,579	22	2,601

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益の調整額22百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。